

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成30年												平成31年															
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~3日	3月 ~10日	3月 ~17日	3月 ~24日	3月 ~31日	4月 ~7日	4月 ~14日	4月 ~21日	4月 ~28日	5月 ~5日	5月 ~12日	5月 ~19日	5月 ~26日	6月 ~2日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	56	46	22	17	14	23	22	17	21	18	9	8	26	21	0 (32)	0
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	85	81	14	10	14	16	23	19	13	20	17	7	17	12	14 (15)	15
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	5	3	0	4	4	2	1	0	1	1	4	0	1	1	1	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	10	9	3	3	4	0	2	3	5	3	2	0	4	3	7	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	22	16	6	1	4	4	7	3	6	3	2	1	5	1	4	3
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0	1	0	0	4	4	1	0	2	1	1	0
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	23	23	0	3	3	3	2	2	3	2	4	0	1	1	0	2

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

令和元年第22週(5月27日~6月2日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	5	結核	5	1		1	1	1	1		
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1	1							
四類	2	日本紅斑熱	1			1					
		レジオネラ症	1				1				
五類全数	19	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1						1		
		後天性免疫不全症候群	1					1			
		侵袭性肺炎球菌感染症	1	1							
		水痘(入院例)	1	1							
		梅毒	5				1		4		
		播種性クリプトコックス症	1				1				
		百日咳	7		3	1	2	1			
麻しん	2		1				1				

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第22週 5/27～6/2)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

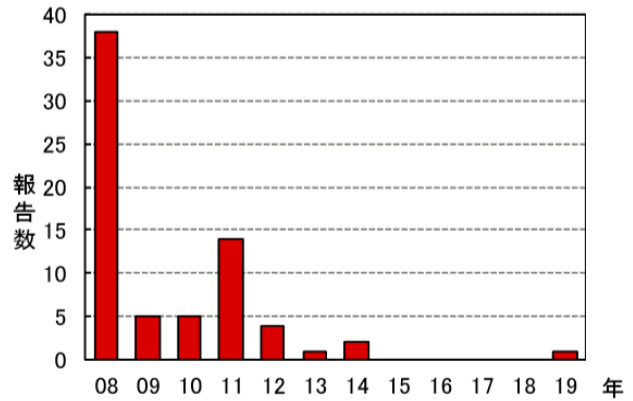
1. 麻疹

広島市で、2014年以來となる麻疹患者の報告が1件ありました。

麻疹は非常に感染力が強く、空気感染・飛沫感染・接触感染によって感染します。感染すると多くの場合約10日～12日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、熱が2～3日続いた後、39度以上の高熱と発疹が出現します。また、高熱が続き、肺炎や脳炎を併発する等、重症化する場合があります。

麻疹の年間報告数の推移

※2019年は第1週～第22週



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
フィン	インフルエンザ	-	-	0.15			小児科	流行性耳下腺炎	4	0.17	0.64		
小児科	咽頭結膜熱	13	0.57	0.75			眼科	RSウイルス感染症	4	0.17	0.14		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	68	2.96	3.58			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03		
	感染性胃腸炎	180	7.83	7.58			眼科	流行性角結膜炎	2	0.25	0.79		
	水痘	6	0.26	0.63			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	32	1.39	1.78				無菌性髄膜炎	-	-	0.06		
	伝染性紅斑	4	0.17	0.23				マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.11		
	突発性発しん	14	0.61	0.51				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	21	0.91	0.77			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	3	0.43	0.31			

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ↖ ↕ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇄ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	68	男性(80歳代)
4	レジオネラ症	1	7	男性(60歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	6	男性(40歳代)・感染者
5	梅毒	4	38	女性(30歳代)・1人、男性(40歳代)・2人、男性(60歳代)・推定感染地域: 国外・1人
5	百日咳	1	27	男性(10歳未満)
5	麻疹	1	1	男性(30歳代)・推定感染地域: 国外

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の発疹性疾患	発熱 発疹 リンパ節腫脹 舌炎	1	男	2019/04/20	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスB5型
その他の発疹性疾患	発熱 発疹	0	男	2019/04/24	咽頭拭い液	ヒトホカウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載